



発行所：特定非営利活動法人 ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話/FAX：03-3945-2415

電子メール：info@v-c-f.org

ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No. 68
2016. 9. 10



ラムドン省ラムハー郡、タンティン2小学校の第4分校 少数民族の子どもたち（校舎贈呈式）

まっちゃんです！ 私は、60歳で定年退職後、日本語教師としてベトナム国ホーチミン市さくら日本語学校に赴任しました。2009年9月のことです。ベトナム行きが初めて、日本語教師初めて、ベトナム語が話せず知り合いもない、の状態飛び込みました。寮から学校まで自転車で15分の距離を着任時は歩いて30分かかりました。山盛りのフルーツを並べた朝市、屋台のバインミー、フォーボー、サトウキビジュース、アイスクリーム、カフェのコーヒー、アオザイのショーウィンドウ、南国の陽を受け、光り輝くベトナムの街並みがありました。街行く人たちは活気にあふれ、労働者はエネルギッシュで怖いもの知らず、家族連れはお

年寄りをいたわり、孫を大切に、家族の絆で結ばれていました。

学生は、真摯な態度と熱意を持って勉学に励みました。熱意ある眼差しは、私の体に突き刺さるほどに感じました。

私の無我夢中の授業を素直に真剣に受け止め、砂地に水が吸い込まれるようでした。日本を見習って良くなりたいという思いが、伝わってきました。

ベトナムの人たちの気質が感じられ、日本に共通する気持ちの近さを感じました。

1年余りがあっという間に過ぎ、心地よい居場所となっていました。

第2の故郷と感ずるようになりました。

Toi muon giup do thanh nien

Viet Nam（私はベトナムの青少年を応援したい）

日本に戻り、ベトナム語の勉強を続ける中でABKに出会い、秋の文化祭でベトナム子ども基金の活動を知り、漠然とした応援の気持ちが具体的な応援になることを理解し賛同し、里親となりました。

今はまだ小さな応援ですが、20年にわたるベトナム子ども基金の活動を少しずつ学ばせていただき、活動の輪を広げる推進のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

ベトナムの青少年には、日本の良いところを学び、悪いところは反面教師として利用し、日本と一緒に世界に対し肩を並べる国になってほしいと期待しています。

（松下 博幸）

ベトナム子ども基金設立20周年記念事業

皆さま！ ありがとうございます。

少数民族の子どもたちが多く通う山の上の分校に新しい校舎とトイレを贈呈することができました。

ラムドン省ラムハー郡、タンタイン2小学校の第4分校はベトナム子ども基金が校舎を増築・改修した9校目の学校となります。

式典には教育委員会の幹部、この地域の書記長の参加があり、厳粛な贈呈式になりました。

ホウエ先生から「せっかく校舎を建設したのだから、ベトナム子ども基金として末永くこの学校の子どもたちが教育を受けられように支援したらどうか」と提案を受けました。しかし、学校は山の上で奨学金を渡しに行くのにも困難な場所です。そこで地域の教育委員会に相談したところ、協力して下さるといことになりました。貧しいながら学校に通い、優秀な子どもたちに「青葉奨学金5名」「黄梅奨学金5名」を支給することを約束してまいりました。

ベトナムでは経済の成長とともに、都市部と農村の経済格差が広がり、農村部ではたくさんの子どもたちが、我々の応援を待っています!!!

子どもたちの里親も募集しています！



新校舎の前で。子どもたちのごあいさつ

トイレ建設 (工事中)

現在ベトナムの学校ではトイレがない学校や設備がそろっていない学校が多く、社会問題になっております。

この小学校も先生用のトイレ（便器なし）はありますが、子どもたちは茂みの中で用を足す状態です。衛生面と教育上のことを考えトイレを建設しました。

ただ、この地域の家にはトイレがなく、まず使い方を指導して、子どもたちが使えるようになるか？大きな課題です。子どもたちは、トイレは早く使ってみたいらしく？完成をととても楽しみにしていました。

ザオ族のお母さんがお礼を言いにきてくれました

「北部から移住してきたが、この地域はとても貧しく、昨年まで道は舗装されてなく、雨の日は2時間かかってぬかるみを歩いて通わなくてはならなかったです。上の子どもはボロボロの校舎で勉強をしていました。新しい校舎に子どもを通わせることができ、本当にうれしいです！ありがとうございます」





子どもは貧困の犠牲者

家庭が貧しく生活が成り立たないことで両親がケンカをして、この子を祖母の元に置き去りにし、両親はどこかに行ってしまいました。

祖母はどうやって孫の面倒を見ていいかわからず、この子は祖母の元に帰るのを嫌がり、服やサンダル、カバンはボロボロ。見るに見かねて先生方がこの子を夜は校舎の中で寝かせ、食事は学校建設に関わっている作業員と一緒に食べさせていました。

今回我々の訪問によりホウエ先生が、式典に出席された教育委員会と共産党の幹部と話をし、今後は保護を受けられることになりました。小学校1年生の子どもが一人で夜学校の校舎で寝泊まりするのはとても寂しく心細かったことでしょう。

木を植えました

日陰がないので、木を植えて涼しい場所を作り子どもたちが遊べるようにドンズー日本語学校（ホウエ先生が校長）より木が12本贈られ、父母と一緒に植えました。
(樋川 好美)



ホウエ先生とトゥーさん（青葉奨学会）



ノート・布袋・歯ブラシ・お菓子をプレゼント！

2016年度総会のご報告

6月18日土曜日午後2時より、アジア文化会館でベトナム子ども基金第7回総会と会員のつどいが行われました。出席者はあまり多くありませんでしたが、認定NPOを目指す子ども基金にとって、重要な総会となりました。例年通り、審議事項として昨年の事業報告と決算の報告・2013年度決算修正が行われ、承認されました。次に報告事項として本年度の事業計画と予算が説明され、承認されました。私はご指名により議長を務めました。丁寧に総会を運営することができたと思います。

こうした会議は単調で形式的なものになりがちですが、実際には活動やお金の動きの細部を正確に報告し、それをきちんと記録を残すことこそ、NPO活動においてはきわめて重要です。細部がずさんになると活動は停滞し、社会的信用を失い、その結果援助するベトナムの子どもたちに対して責任を果たすことができなくなってしまいます。小さなことを少しずつ積み重ねることが、大きなことをなし得るたった一つの方法なのでしょう。現在ベトナム子ども基金は認定NPOへ申請中です。こうした細かい作業はさらに重要になっていくに違いありません。事務局は襟を正し、責任を果たしていこうと考えています。会員の皆さまのご支援を、心よりお願い申し上げます。

(道又 爾)

2016年度「春の木運動」のご報告

日本の皆さまありがとうございました！

ベトナムの青葉奨学会より、今年の「春の木運動」の報告が届きました。

今年は3回に分けて活動を行いました。第1回、第2回は、貧困地域の子どもたちに洋服を贈り、第3回はホーチミン市内各所の貧困家庭、路上生活者、病院にちまきと米を配りました。

ベトナム子ども基金からは、331,000円の支援を送ることができました。

皆さまの温かいお心に感謝申し上げます。

(事務局)

お正月に新しい洋服を —第1回— ニントゥアン省バックアイ郡
11カ所の幼稚園に1,721着の洋服を配布しました。



フォックダイ村 フォックダイ幼稚園



フォックタン村 フォックタン幼稚園

お正月に新しい洋服を —第2回— ロンアン省カンユック郡
小学校に313着の洋服を配布しました。



ドンタイン村 ラックヌイ小学校



タントップ村 タントップ小学校

楽しいお正月を迎えるために米とちまきを配る —第3回— ホーチミン市
ちまき600本と米400袋を配りました。



ゴーバップ児童養護施設で障害児と路上生活の子どもたちにちまきを贈る



入院中の子どもたちにちまきを贈る

～里親さまに 感謝の気持ちいっぱいの手紙を送ります～

✎ 高校卒業の里子たちからの手紙特集



ベトナム子ども基金では、ベトナム青葉奨学会を通じて、小学校・中学校・高校（里親からの希望があれば大学まで）の子どもたちに奨学金を支給し、「明るい未来」に向けて応援をしています。

日本以上の格差社会であるベトナムでは、貧しい子どもたちは満足な教育を受けることができず、負の連鎖が続きます。連鎖を断ち切るには「教育」を受けることがとても大切です。私たちの支援は、子どもたちを経済的に、精神的に励まし、将来多くの人の役に立つ人材を育てることが目標の一つです。

高校卒業で支援は基本的に終わります。里子も特別な思いをもって、今まで応援をしてくださった里親の方へ、感謝の気持ちを込めて手紙を書くのだと思われます。中には小学生のときから継続して応援して下さる里親もいらっしゃいます。長期にわたり応援を続けるのは、なかなか難しいことです。里親になって下さる方の忍耐強い、温かい、広いお心は、子どもたちに伝わり、支えになっています。小学生の手紙には「奨学金をいただきありがとうございます。一生懸命勉強します」等、学校の先生の指導のもとに書いたと思われる形式的な手紙が多いかもしれません。中学・高校生になり、支援して下さっている里親への感謝の気持ちを、縁あってつながった、人と人との愛情の深さを感じられる自分の言葉で書けるように成長します。



全国の学生と知り合えて



グエン・ティ・タオ・ルーン

まず、私を支援して下さるお二人に、心からのお礼を申し上げます。お二人は、お元気ですか。親しい方たちもお元気ですか。これから、私の勉強のことをお話します。

今、全国统一高校卒業試験と大学選考の準備をしています。私は、5科目と3科目の必須科目を選びました。それは、数学、国語、英語、選択科目として化学と生物です。私は大学選考では医師になるという夢を実現するため、数学、化学、生物の3科目があるBグループを選びます。今学期、平均点9.0点で“非常に優秀な学生”の称号をもらいました。特別なことは、中央共産党が主催する「ベトナムの誇り」という試験に参加しました。これは、「ベトナムの歴史と文化を知る」試験です。省レベル

の試験では1位になり、私の住むティエンゼン省の唯一の代表になりました。全国の省の代表の学生とともに、国レベルの試験に参加しました。国レベルの試験は、首都ハノイで行われました。この試験では、85人中21位でした。賞はもらえませんでした。が、とても楽しかったです。初めてハノイに行けたからです。私の国の偉大な主席ホーチミンの廟を訪ねることができました。それに、私の国の封建時代の多くの朝廷の首都だったタンロン城遺跡も見学しました。そのほかにも、我が国最初の大学である文廟-孔子廟-やホアンキエム湖を訪ねました。でも、一番楽しかったのは、全国のたくさんの学生たちと知り合いになれたことです。それらの友人たちの住む地域の文化や習慣を初めて知ることができました。今、兄は学校をやめて、母が家族の生活を支えるのを手伝うためにアルバイトをしています。私たち家族は、今も借家に住んでいます。私は、お二人からの奨学金を受け取りました。

終わりに、お二人のご健康をお祈りします。お二人とご家族が一緒に、いつもお元気で、いつも楽しくお幸せでいらっしゃることをお祈りします。自分の夢に近づくために、全国统一高校卒業試験で高い結果を出せるように頑張ります。では、失礼します。

障害があっても進学して 仕事に就きたい



クー・ティ・シン

私は今日この手紙を書いて、里親さまとご家族の皆さまの健康へのあいさつを送ります。また里親さまが送ってくださった奨学金をいただいたことをお知らせします。

里親さまは、私の家族の困難な状況を長年支援して下さいました。私と家族は心から里親さまに感謝の言葉を申し上げます。私は今年高校3年の勉強を終了しました。今全国统一高校卒業試験を受けるために受験勉強をしています。自分で食べて

いけるようにもう少し上へ進学したいと思います。私は障害者で激しい運動などではみんなについていきません。また社会が能動的、活動的な人を選びたがりますので、自分に合う仕事を見つけるのはとても難しいです。両親と先生方は私に合う仕事を見つけるためにも、上へ進学しなさいと勧め、また応援してくれます。

今年私の故郷では、冬は例年よりも長引いて、天候が厳しかったです。里親さまの国の今年の冬の気候はいかがでしたか。あと1カ月足らずで私は試験を受けます。そのあと10日余りで稲刈りが始まります。今年の稲は去年より良さそうです。理由は病害虫とネズミの害が少なかったからです。

毎年母と兄は殺虫剤として石油系のものを使っていますが、今年はあまり使いませんでした。また両親は病気がちなので田んぼを耕すのも減らしました。母の1カ月分の薬代は100万ドン余りです。親は病気がちですが、田を耕したり、建築工事の手伝いをしたりして私たちを育て、学校へ行かせてくれます。母は15羽の鶏を飼っていて、その卵を食べます。うちの池は広いので、父は魚を取るために水中に網を沈めておき、仕事から帰ってから、それを引き上げて、何か入っていればそれをおかずとして食べます。これが私たち家族の生

活です。里親さまの生活はいかがですか。私は里親さまに手紙を書いて、名前だけは知っていますがほかのことはまだ何も知りません。近いうちにお返事をいただけることを願っています。

最後に、里親さまとご家族の皆さんの健康、ご成功と幸福をお祈りします。私と家族への引き続いての支援をよろしくお願いします。心から感謝しています。

心からの思いを 手紙に込めて



ドー・ドゥック・アイン

春が過ぎて、夏の日差しが町の隅々を照り始めています。夏が来て里親さまの健康、幸福を祈り、そしてこの夏を十分楽しめようと思っています。私の故郷は夏の特徴的な暑さが始まりました。湿度が下がり、すべてが乾燥して、干からびています。この時期私の学生時代の最後の月日で、心が揺れ動いて、まるで天気と同じようです。卒業式が行われ、友達との別れの涙を流しました。一番心に残っているのは学生時代の思い出です。学生時代の扉が閉じ、私はこれから大学に進学するか、専門学校に入ります。自分の夢を実現するのに、どこの学校を受験するか。い

ろいろな可能性があり、自分で選ばなければなりません。自分の選んだ道が困難でも、必ずそれを乗り越えなければなりません。

私は、自然科学大学のバイオテクノロジー学部を受験するつもりです。将来卒業したら、勉強し

た知識を応用して、栄養豊富で育てやすいキノコ類、日照りに強く、早く成長するサヤエンドウの若芽を作るとか、大量に生産できるたんぱく質の多い食用になる昆虫を作ります。里親さまはどのように私がこういう種類のものを作りたいかお分かりでしょうか。私は、これらを収入の少ない人、住む所がない人、困難な状況に置かれた人、障害者のために提供したいと思います。

特に長い時期に海に出る漁民のためです。彼らは海を航海して、国の海の主権を守りながら、漁をして収入を増やそうとしています。上記のような植物などができたら、現在の海をとりまく厳しい状況に陥って、漁があまりできない状態に直面しても、困難はいくらか少なくなるのではないかと思います。私の小さな望みです。地位が高く、また収入が高い仕事には就きたくありません。それよりも私は安くて、育てやすく、また栄養満点なものを作りたいと思います。貧乏な人でも、お金のある人でも、私の作る衛生的で、栄養豊富な農産物を手にしたら、みんな喜んでくれるのではと考えています。

私は現在、一生懸命に全国統一高校卒業試験に集中しています。成績が優れない私にとってはとてもプレッシャーがあり、大学を受験するのも大変な試練です。しかし、私は諦めないで前に進んで、精一杯勉強をしています。

さて、里親さまはもちろんご存じありませんが、里親さまは私が心からの手紙を書く初めての方です。私の考え、心、思いがすべてこの手紙に入っています。偽りとか中身がないとかということは全くありません。里親さまは私にとって心の通った親戚のようです。自分の親にも本当の心の内を話さないときがあります。私と里親さまは性格、言葉、住



ベトナムの高校生。女子高生のアオザイ姿が素敵！



ベトナムの高校生。教室にて

んでいるところが違い、また知り合いないのに、里親さまは困難な遠いベトナムの子どもを思って、自分の給料の一部を知らない人に支援してくださっています。里親さまの国は自然災害が私たちの国より多いと思いますが、里親さまは他の人に対していつも困難を多くの人と分かち合っています。私は一度里親さまにお会いして、奨学金を初めるときから今までいただいている感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

私は精いっぱい頑張っ、自分の夢を実現するつもりです。そしていつか里親さまにお会いしたいと思いますので、里親さまもそのときをお待ちください。

里親さまの健康、幸福をお祈りします。

意味のある贈り物を心の糧に



ファム・ティ・フエ

敬愛する里親さま

里親さまはお元気ですか。お仕事は順調にいらっているでしょうか。私はまた1年間の勉強が終わりました。例年通り夏休みに入りました。今年高校の最後の学年ですので、全国統一高校卒業試験のため、今毎日復習をしています。

学生時代は驚くほど早く過ぎ去り

ました。ついこの間まではまだ少女でしたが、今ではもうそろそろ学生時代が終わりそうです。のんびりだった日々がまもなく終わります。私は同年代の子どもと同じように学校へ行き、家族、周りの人々の愛情を受けて育ち

ました。しかし、私の幸せは完全なものではありません。交通事故によって私は父を奪われ、私の愛の源、家族の主な支えを奪われました。母もあの交通事故の影響で、健康が優れずいつも病気がちです。家庭状況は段々悪くなっていきました。そのような状況の中で、私は幸いなことに、里親さまに毎月支援をいただけるようになりました。これは物質的な支援であるばかりではなく、精神的な支えでもありました。私の勉強を大いに励ましてくれました。いただいた奨学金は勉強のために使いましたが、母の苦労をいくらか減らしてくれました。私は奨学金をもらえるという知らせを受けたときは、とてもうれしくて喜び、幸せが体の内にあふれました。またそのとき、母はうれしさのあまり、涙を流しました。

今度の試験で、私はより高い目標に達して、大学に入って大学生になることを長年夢見てきました。試験は7月に行われます。試験までの時間を一生懸命復習に費やして、しっかり自信をもって、受験に臨みます。この時期も母は家事と収穫に忙しい日々を送っています。受験の勉強のために、私は例年のように母の手伝いをできません。

最後に、里親さまの健康、またお仕事は順調に進みますようにお祈りします。里親さまは遠く離れた私に対して深い関心を寄せてくださり、

意味のある贈り物をくださっています。私も母もとても感動し、心からお礼を申し上げます。私は、これを困難を乗り越えるための心の糧にして、私に対する里親さまの尊い心に応えるようにこれからも精一杯頑張っ勉強します。

奨学金は応援と喜び



チューン・ティ・フーン

まずは、里親さまとご家族のご健康とお幸せとご成功をお祈りします。

里親さま、私は農村の貧しい農家に生まれました。生後3カ月のときから父がいません。そのとき、私は小さかったので父の顔は覚えていません。母は今日まで、私たち姉妹を育て、教育するために苦勞して働いてきました。姉2人は母を助けお金を稼ぐために、早くに学校をやめました。2010年に学校やハーナム省奨学会を通じて、里親さまからの奨学金を毎年いただけるようになりました。この奨学金のおかげで、本や学用品を買うことができただけでなく、頑張っ勉強する応援と喜びになりました。11年生は可の成績でしたが、12年生で良の成績の学生になりました。

里親さま、私は今年12年生で、高校最終学年です。この6年間、私を支援してくださった、里親さまの広いお気持ちに大変感謝しています。これから、社会に役立つ良い人間になるように頑張っ勉強し、努力していきます。それに、私と同じような貧しく困難な子どもたちを支援したいです。

もう一度、これまで私を支援してくださって、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。里親さまとご家族のご健康とご安泰をお祈りします。

●事務局から

◆ベトナム子ども基金会員募集！ (友人・知人をお誘いください。ご協力お願いします！)

種別	名称	会費	内容	総会議 法権
	運営会員	年額1口 20,000円 (学生:10,000円)	主に会の運営に関わり、事務局作業などをしながら子どもたちを支援する(学生は年会費半額)。	あり
基金 支 援 会 員	里親基金	年額1口 20,000円	特定の子どもの「里子」として奨学金を支給する。ベトナム青葉奨学会から、子どもの家庭状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができる。	なし
	里親学生基金	年額1口 10,000円	同上(学生対象)	なし
	一般基金	年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定している。通信を通じて子どもたちの様子を報告する。	なし
	法人基金	年額1口 50,000円	一般基金に準じる(株式会社等の法人対象)。 お名前を通信・ウェブ等でご紹介。	なし
	賛助基金	自由	一般基金に準じる。金額、回数などいっさい自由。	なし
	学校建設黄梅基金	応相談	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設する。該当学校に黄梅奨学金を併設することも可能。	なし
	個別黄梅基金	300,000円以上	年に1度、預金利子を奨学金とし、支給する。 基金の名前、支援地域等、相談の上決定する。	なし
	ベトナム黄梅基金	10,000円以上	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立、年に1度、預金利子を奨学金とし、支給する。	なし

◆ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座にお願いいたします。

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ): トクビ ベトナムコドモキキン
基金支援会員 (里親基金・里親学生基金・一般基金・法人基金・賛助基金)

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121865

基金支援会員 (学校建設黄梅基金・個別黄梅基金・ベトナム黄梅基金)

郵便振替 00130-4-552361 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121873

運営会員

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121865

◆「ベトナム子ども基金のつどい」のご案内

第3土曜日にベトナム人留学生と交流する場として「つどい」を開催しています。どなたでも参加可能ですので、(参加費無料) どうぞ皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

ご参加希望の方はお手数ですがメールまたは電話(留守電可)・FAXにてお申し込みお願いいたします。お待ちしております。

- 場所: アジア文化会館 時間: 14:00~16:00 お話しして下さる方: ベトナム人留学生
2016年9月17日(土) 10月15日(土) 11月19日(土)